

環境だより



環境課 ☎66・1121

意外に知られていないのが、家庭ごみをクリーンセンターへ持ち込むことができるということです。生ごみなどの燃えるごみは週2回、資源物・不燃ごみは月2回、それぞれ地域のごみステーションに出せば収集してもらえます。粗大ごみは毎週日曜日（年末年始を除く）に拠点ステーションで受け取ってくれる、となればクリーンセンターへ行く必要はないのです。しかし、一度にたくさんのごみが出てしまったとか、急いでごみを処分したいということがありますよね。そんな時はクリーンセンターへ持ち込むことができます。ただし、クリーンセンター

クリーンセンターへ持ち込めるごみは？

いつ	何時に	どこへ	何を	お金は
平日 (月曜日～ 金曜日) ※祝日も可	午前9時 ～正午 午後1時 ～4時	クリーン センター	可燃・ 不燃ごみ	50kgまで 無料(※)
			粗大ごみ	100kgまで 無料(※)
			資源物	無 料

(※)超えた場合は10kgにつき50円がかかります。

へ何でも持ち込めるわけでは
ありません。処理できないも
の、大き過ぎるものなどはお
断りしています。

「お詫びと訂正」

4月1日号の「環境だより」不
法投棄、許しません」の中
で通報先の課名が間違っていま
した。お詫びと訂正をします。

誤 蒲郡警察署生活保安課
正 蒲郡警察署生活安全課

蒲郡警察署生活安全課

消防最前線

Journal
of
Fire
Department
119

URL <http://www.city.gamagori.aichi.jp/syoubou/index.html>

草木も眠る丑三つ時、作業
着に長靴、ヘルメット、手には
くわと竹みの、かきカマ、ま
るで畑仕事か潮干狩りスタイ
ル。こんな時間になんか何事
が？実はこの姿、われらが誇
る予防課員、別名灰かき部隊
(火災原因調査員)の出で立ち
なのです。火災が発生すると
自宅の電話が鳴り響き、予防
課灰かき部隊大作戦の始まり
です。

火災原因調査が行われるの
は、消防隊の消火活動終了後
に開始されます。闇夜の中で
の調査は危険がいつぱい。天
井から、放水後の滴や焼け残っ
て落下してくる瓦の洗礼、オー
マイゴッド。焼け落ちた瓦れ
きの山などで原形をとどめな

灰かき部隊



い火災現場では、消防本部予
防課員と警察の捜査官とで、
原因究明のための現場調査が
始まります。出火前の現場復
元のために、わずかな痕跡を
頼りに一つ一つの瓦れきを丁寧
に取り除いてゆく、地道な掘
り起こし作業が長時間にわた
り行われます。

調査に手抜きは禁物です。
火災がどのように発生して延
焼拡大したのか。「発火源」経
過「着火物」の出火原因を特
定するまでは、灰と調査員の
にらみ合い。シッポを巻いて逃
げることは許されません。

火災における出火原因の特
徴や原因を明らかにすること
は、火災予防対策の重要なデー
タとなるのです。調査員とい
う仕事は消防の「縁の下」の力持
ち。くわを持って、いざ出動。